

紙コップから飛び出すパラシュートを作ろう

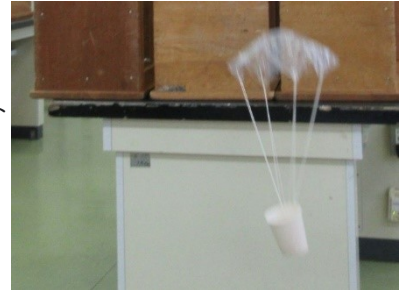
09

立山町立雄山中学校 科学部

● どんな実験なの？

皆さんはパラシュートを知っていますか？

パラシュートは、傘のような形状で空気の力を受けて落下速度を制御するものです。今回は、普通の工作したパラシュートを作りながらパラシュートの性質について考えてみましょう。



● 用意するもの

- ・セロハンテープ
- ・薄いポリ袋
- ・紙コップ
- ・タコ糸
- ・おもり

● 工作・実験の仕方とコツ

- ① ビニール袋を直径30cmの八角形に切る。
- ② 切った袋の角にひもをセロハンテープで貼り付ける。
- ③ 8つの紐の先を1つに結ぶ
- ④ 紙コップの底に③の結び目とおもりをつける。

ここがポイント！

パラシュートのカサとひもを紙コップの中に入れて紙コップを投げると、紙コップからパラシュートが飛び出して、紙コップの落ちる速度が遅くなることを観察しよう。

● パラシュートとはなにか？

パラシュートは、傘のような形状で空気の力を受けて速度を制御するもの。落下傘(らっかさん)とも呼ばれている。

● どんなパラシュート？パラシュートを使って何をするの？

今回のパラシュートは紙コップから飛び出るものに挑戦します。

パラシュートは速度が増すと圧力が低下する原理が使われた落下速度を低下させるもので、この実験でその原理を体感できます。

● 参考にしたHP

遊びの国>空飛ぶおもちゃパラシュート

<https://www.success1.co.jp/mukasi/no.03/pa.html>